

スポットライト

小児科に花木医師着任

より通いやすく 午後の診療を開始 済生会境港総合病院

済生会境港総合病院(米川町)の小児科に花木啓一^{けいいち}医師が着任しました。また、同科の診療時間を拡大し、午後診療を開始。専門診療も充実しています。今回は、同病院の花木医師にスポットを当てました。

花木医師は、鳥取大学医学部保健学科教授、県立厚生病院(倉吉市東昭和町)院長などを経て、ことし4月から同小児科を担当。毎週月・火・水・木曜日の午前8時45分から午後5時15分まで、外来診療に当たっています(予約優先)。

火・水曜日の午後2時から4時30分までは予防接種と乳児健診枠ですが、診療も行います。金曜日は鳥取大学医学部附属病院(鳥大病院、米子市西町)の小児科医師が診療します(午前9時から午後5時まで)。

同科は、子どもたちの心と身体をトータルに見守る「子どもの総合診療科」として、一般診療、各種予防接種、乳児健診などを行い、日々の健康をサポート。

一般診療では、発熱、^{がいそ}咳嗽(せき)、嘔吐・下痢、発疹、けいれん、感染症、アレルギーなどに診療と検査で幅広く対応しています。より高度な検査や入院が必要となった場合には、鳥大病院をはじめ、適切な医療機関へ迅速に紹介できる体制も整えています。

さらに「小児内分泌代謝疾患」の専門診療にも力を入れています。「身長伸び」「体重(肥満・やせ)」「思春期(早発・遅発)」「甲状腺疾患、糖尿病」などの内分泌代謝疾患に対し、体格計測や血液・尿検査(ホルモン値など)、骨成熟度評価といった精密検査を行い、最適な対応方針を提案します。

学校医も兼務する花木医師は「最近、肥満傾向の子どもさんが多くなっています。コロナ禍の時には、やむなく外出を控えなければならず、いつも家にいる生活が当たり前になったことが影響しているようです。子どもにとって健康的な食習慣・運動習慣がいかに大切か分かります」と指摘。

また「私たちは、お子さんのすこやかな成長をスタッフ一同、ご家族に寄り添

いながら応援させていただきます。気になることがありましたら、何でも気軽にご相談ください」と話しました。

詳しくは、同病院(☎42-3161)へ。予約の場合は、平日の午後2時から4時までの間にお電話ください。



子どもの肥満状況を解説する花木啓一医師